

地域を支える道路財源の確保と補助制度について

【担当省庁：国土交通省】

1 道路整備財源の確保

京都府の道路整備財源は、必要事業費に対して内示額が大きく下回っている状況が続いており、地域経済の活性化や災害時におけるリダンダンシーの確保のための着実な道路整備や計画的な維持管理が困難な状況である。

- 高速道路のミッシングリンク解消や府内の幹線道路網整備、さらに防災対策や維持管理など、必要な道路整備を計画的かつ着実に進めるため、平成31年度予算では、**補助事業、社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金等、道路関係予算の増額確保**をお願いしたい。
- 実施中事業の早期の効果発現及び地域経済の改善傾向を維持するため、**平成30年度補正予算の編成**をお願いしたい。

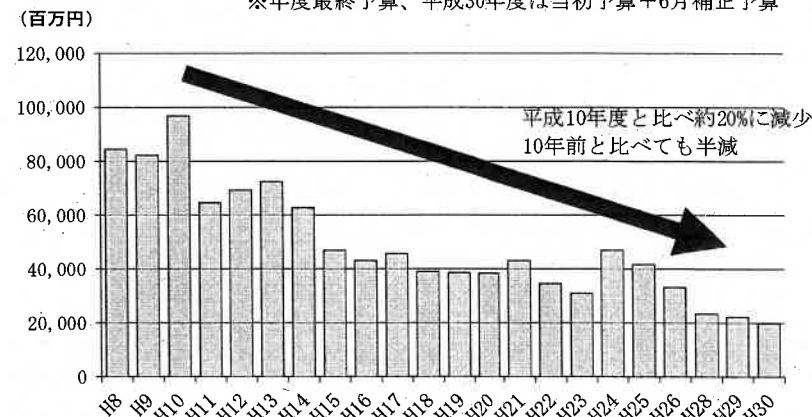
京都府の担当課	建設交通部 道路計画課 (075-414-5246)
---------	----------------------------

■平成30年度の交付金の内示状況（市町村含む）
 ▶内示額が所要額を大きく下回る状況（大幅な予算不足：約170億円）（事業費）

計 画	平成30年所要額		平成30年内示額		内示との差 (百万円)
	(百万円)	比率	(百万円)	比率	
重点計画 【アクセス・老朽化・通学路等】	23,224	77%	11,379	86%	▲ 11,845
非重点計画 【緊急輸送路・府県境道路・法面防災等】	6,775	23%	1,860	14%	▲ 4,915
合計	29,999		13,239		▲ 16,760

※街路事業含む、広域連携事業除く

■京都府の道路関係予算(事業費)の推移
 ※年度最終予算、平成30年度は当初予算+6月補正予算



■京都府管理道路の改良率（平成28年4月1日時点）

▶京都府の道路改良率は63.7%（全国41位）

	一般国道	主要地方道	一般府道	合計
全国平均	87.2%	78.7%	62.7%	73.2%
京都府管理道路	88.6%	66.1%	47.4%	63.7%

※京都府の道路改良率は全国41位と遅れており、新名神高速道路等の国土軸の整備効果を府域に波及するためのアクセス道路整備や緊急輸送道路のバイパス整備など、大規模事業を多く抱えている。

2 補助事業の制度拡大・新規事業採択

平成30年度より、ICアクセス道路補助制度の拡大により5事業を補助事業化していただいたことは計画的な事業推進に役立つものと感謝している。しかし、交付金により実施中の道路事業には、依然として複数年にわたり計画的かつ集中的な投資が必要となる事業があるため、補助対象の拡充や新規制度化をお願いしたい。

①ICアクセス道路事業

○ 京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道などの既設ICへのアクセス道路整備を補助対象に追加

- ・国道423号（法貴バイパス）
- ・府道小倉西舞鶴線（白鳥トンネル）

②他機関との連携事業

○ JR奈良線の高速化・複線化第二期事業と時期を合わせて行うアクセス道路整備や、府県境における大規模構造物等、鉄道事業者や隣接府県が時期を合わせて行う必要がある道路整備を新たに制度化

- ・府道向島宇治線（宇治駅アクセス）
- ・国道429号（榎峠バイパス）

③大規模修繕・更新補助事業

○ 橋梁の老朽化による架け替え事業の対象事業費の更なる引下げ

- ・府道郷ノ口余部線（宇津根橋）

○ 複数路線の構造物の集約化を対象に追加

- ・府道綾部宮島線（脇谷バイパス）

また、既存補助制度において、次の事業採択をお願いしたい。

○ 新名神高速道路のICアクセス道路の平成31年度からの補助事業化

- ・府道山城総合運動公園城陽線（城陽橋）

■補助事業の対象拡大等

項目	現行制度	要望する拡充事項
① ICアクセス道路事業	高規格幹線道路及び地域高規格幹線道路の「新設IC」等へのアクセス道路整備に補助 [H30に高規格幹線道路ICを追加]	ストック効果を高めるアクセス強化のため、整備を伴わない「既設IC」を追加
② 他機関との連携事業	制度なし	鉄道事業、隣接府県事業等との連携事業などに対し、計画的、集中的に事業費が確保できる補助制度の創設
③ 大規模修繕・更新補助事業	次の全体事業費以上が対象 修繕:10億円 更新:50億円 [H30に全体事業費100億円から緩和]	府県等の管理施設規模及び事業規模に対応できるよう、制度対象となる事業費の更なる引き下げ
	「同一路線」における構造物の集約化に補助	地形等の状況により、現行制度と同等の効果がある「複数路線の構造物の集約化」を追加

■補助事業の制度拡大（要望箇所）

- ① 国道423号（法貴バイパス）：京都縦貫自動車道の既設ICへのアクセス（H25～32、42億円）
- ① 小倉西舞鶴線（白鳥トンネル）：舞鶴若狭自動車道の既設ICへのアクセス（H26～35、45億円）
- ② 向島宇治線（宇治駅アクセス）：JR奈良線の複線化に合わせた駅アクセス（H26～34、29億円）
- ② 国道429号（榎峠バイパス）：県境における、トンネル・橋梁整備等、府県をつなぐ広域的な幹線のための道路整備（H30年代前半～、約20億円）
- ③ 郷ノ口余部線（宇津根橋）：老朽化による架け替え（H26～34、41億円）
- ③ 綾部宮島線（脇谷バイパス）：老朽化による架け替え、集約・撤去（H26～34、29億円）

■補助事業の新規採択（要望箇所）

- 山城総合運動公園線（城陽橋）：新名神高速道路のICへのアクセス（H31～35、40億円）

■平成30年度補助事業化箇所

- 国道307号（郷之口）：H28～35、9億円
- 国道307号（市辺～奈島）：H27～35、16億円
- 宇治木屋線（宇治田原山手線）：H29～33、11億円
- 宇治木屋線（犬打峠）：H29～35、65億円
- （都）東部丘陵線：H28～35、65億円（城陽市事業）